

令和2年度

## 学校教育基本方針

京都市立上高野小学校

### 学校教育目標

「思いやりにあふれ、自ら考え方行動する子の育成」

#### 『目ざす子ども像』

- ・自他を大切にできる子
- ・自ら考え方行動することができる子
- ・自らを律することができる子

#### 『目ざす教職員像』

- ・常に人権を意識した教職員
- ・子どもの実態を的確に把握し、個に応じた関わりができる教職員
- ・子どもの将来展望を見つめ、一人一人に届く授業の創造ができる教職員
- ・保護者・地域等との連携を深め、共に子どもを育むことができる教職員

#### 『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、充実感を持ってすごせる学校

～子どもも大人（教職員）もが『明日も来たいな、と思える学校』に～

## **学校経営方針**

### **【指導の重点】**

#### **自己指導力を高める**

「自己決定力」「自己存在感」「共感的な人間関係」の醸成を通して

#### **「確かな学力」（めあてと評価を明確にした学習指導の充実）**

「学びのめあてを明確にした授業の構築」  
「『見方・考え方』を働かせる授業の創造」  
「自己決定の経験を積み、自己存在感の高揚を図る」  
「指導と評価の一体化、説明責任を果たせる評価」

#### **「豊かな心」（学校生活を通してつける心の力）**

「人権を尊重する態度の日常化」  
「いじめを許さない、共感的な人間関係の構築」  
「個々の児童が『居場所』（自己存在感）を感じることができる学級経営」  
「公共心・公徳心、自己指導力の向上」

#### **「健やかな体」（健康と安全を意識して過ごす力）**

「子どもの命を守りきる」  
「健康の保持・増進」  
「自律的な生活意識の向上」  
「自分の命を自分で守る意識の向上」

#### **「地域との連携・協同」～上高野で学ぶアドバンテージ～**

「地域の文化・伝統を活用した教育（教職員自らが地域に学ぶ）」  
「地域の一員としての自覚や所属感を持つ活動」

令和2年度 一京都市の目指す子ども像

## 「伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども」

—3つの姿—

1. 広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる
2. 様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
3. 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

令和2年度 上高野小学校 学校教育目標

## 「思いやりにあふれ、自ら考え行動する子の育成」

令和2年度 指導の重点

### 「自己指導力を高める」

「自己決定力」「自己存在感」「共感的な人間関係」の醸成を通して

#### 『目ざす子ども像』

- ・自他を大切にできる子
- ・自ら考え行動することができる子
- ・自らを律することができる子

#### 『目ざす学校像』

- ・一人ひとりが認められ、  
安心してすごせる学校
- ・自分の力を発揮でき、  
達成感がもてる学校
- ・共に高まり合える集団の中で、  
充実感を持ってすごせる学校